



月布川の水位が橋まで達し、住民が取り残された現場
＝18日午前10時16分、大江町顔好



発行所

山形新聞社

山形市旅籠町2-5-12

電話 代表023 (622) 5271

Copyright (c) 2013
Yamagata Shimbun

2013年

7月18日

〈木曜日〉

速電
報版子

購読申し込み
(9-17時)

0120-81-8040

やまがた
ニュースオンライン
yamagata-np.jp

携帯・スマホ
yamagata-np.jp
/mobile/



詳しくは山形新聞を
ご覧ください。

県内各地で大雨被害

住民避難、交通網も寸断

県内は18日、低気圧の影響で全域で大雨に見舞われた。大江町を流れる月布川の水位が上昇し、町は近隣6地区の約240世帯に避難指示を発令。約50人が避難した。山形、南陽、上山の各市も一部地区に避難勧告を出した。山形新幹線つばさは運転を見合わせ、西川町月山沢の国道112号では土砂崩れがあり、高速道の通行止めも相次いだ。

大江町によると、月布川に架かる久保橋が浸水、久保地区の5世帯7人が一時孤立した。正午ごろから水位が低下して橋が渡れるようになり、住民は近隣の旧小学校舎などに避難した。避難勧告が出されたのは、山形市本沢、長谷堂の一部、南陽市下荻、上山市の北町、新丁、十日町、柴町、旭町の一部など。

JR東日本山形支店によると、山形新幹線は雨量が規制値を超え、つばさが午前11時すぎから上下線で運転

を合わせた。奥羽本線、左沢線でも運休が相次いだ。県警によると、山形自動車道はいずれも雨量が規制値を超え、寒河江―月山間、湯殿山―庄内あさひ間が通行止めとなった。県危機管理課によると、浸水による県道の通行止めも各地で起きている。東北電力のまとめでは、落雷の影響で、天童市や山形市などで計2225戸（街路灯などを含む契約数）が停電し、午前11時半までに復旧した。